# 夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校
学校だより 第7号
令和5年2月24日

## しっかり締めくくり、次につなげましょう！

令和５年がスタートしてから、あっという間にもう２月も終わりが近づいてきています。１月は行く、２月は逃げる、３月は去るとの言葉通りの状況となっておりますが、しっかりと一日一日を充実させていきたいと思っております。冬休み明け早々の１月 11 日、12 日には入学者選考が実施され、今年度は 44 名が受検しました。合否にかかわらず、皆さん一人一人が社会自立、職業自立に向け、お互いに高め合っていけるよう連携・協力していかなければと、改めて強く感じました。生徒会の方も次年度に向けて役員選挙が実施されました。立候補した生徒は皆、旧生徒会役員の後ろ姿を見て『これから、もっと学校を良くしていこう！』という気持ちで立候補したことと思います。しかし定数があるため、残念ながら生徒会役員になれなかった生徒もいます。こちらも当落にかかわらず、立候補時に抱いた思いをもって、学校のため自分のために頑張っていってほしいと思います。

年度末になり学年や学級、教科学習や作業学習、部活動と、どの活動もまとめの時期となっております。その一つ、作業学習の集大成として２月 10日にコト・モノ Day として、きぼーるで販売会を、校内で大規模清掃を行いました。前日からは、千葉を含む関東地方も大雪警報が出るのではとの天気予報も多く、開催できるのだろうか、お客さんは来てくださるだろうかとヤキモキしておりました。当日は底冷えする寒さではありましたが、雪にはならずに交通機関の影響なくスタートできました。天気の心配をよそにお客さんの方も大勢来ていただき、開店直後は長蛇の列で対応にてんてこ舞いという大盛況ぶりでした。食品加工班や農園芸班などは２時間で早々に完売となっておりました。売上 No.1 は縫製織物班。木工班の座編み椅子の実演販売も好評で売れ行きも良かったです。事務サービス班が近隣にポスティングをしたり呼び込みをしてくれたりしたお陰かと思います。学校に戻ると １ 階の廊下がピッカピカ。ビルクリーニング班がここぞとばかりに皆がいない間にきれいにしてくれました。また、部活動の方ではバスケットボール部が ２ 月 18 日に市川大野高等学園にて、職業科や職業コースの学校と交流試合を行ってきました。今年度、スポーツ大会は開催されましたが、バスケ部は会場が閉鎖されており実施できませんでしたので、本当に待ちに待った対外試合となりました。男子は２戦２勝、女子は１勝１敗という好成績でした。何より試合ができた喜びで大満足の一日でした。

作業学習にせよ部活動にせよ年度末のまとめや新旧交代の引継ぎ時期となっております。泣いても笑っても今のメンバーで活動できる時間は限られています。悔いのないように、やり残しのないように一日一日、一分一秒を大切に、思い切り楽しく過ごしていきましょう。

校長　三宅 健二朗